

## 第1回鹿野地域振興未来会議 議事概要

日 時：令和7年4月25日（金） 午後3時～午後5時6分

場 所：鹿野町総合支所 2階 会議室

### 【出席委員】

岡本洋一、森村繁一、長谷川誠一、兼平 恵、砂川重雄、上山秀雄、佐々木千代子、  
山根裕太、山名 修、田中奏子、津田夏海

以上11名（敬称略）

【欠席委員】 筒井洋平 以上1名（敬称略）

### 【事務局】

＜鹿野町総合支所＞

小林支所長、西垣副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室長）、  
國森産業建設課長、岡田市民福祉課長、宮本地域振興課課長補佐

【説明者】 ＜都市企画課＞三谷主査

【傍聴者】 なし

### 【日 程】

#### 1 開会

#### 2 支所長あいさつ

#### 3 議題

（1）会長、副会長の選出について

（2）地域振興未来会議の役割及び令和7年度開催スケジュールについて

（資料ダウンロード）

（3）景観計画の改定について

（資料ダウンロード）

（4）7年度総合支所重点・強化施策及び懸案事項及び関係予算について

（資料ダウンロード）

#### 4 報告事項

（1）鹿野町地域未来プランについて

（資料ダウンロード）

（2）行事経過報告及び今後の予定について

（資料ダウンロード）

#### 5 その他

#### 6 閉 会

## ◎議事概要

### 3 議題（１）会長、副会長の選出について

会長 長谷川誠一      副会長 筒井洋平

### 3 議題（２）地域振興未来会議の役割及び令和 7 年度開催スケジュールについて

事務局より資料 1 に基づき説明。

・ 鹿野地域振興未来会議の概要およびスケジュールを基に説明

特になし

### 3 議題（３）景観計画の改定について

事務局より資料 2 に基づき説明。

・ 鳥取市景観計画改定に向けた資料を基に説明

【委員】 未来会議で意見を出し合い、新たな重点区域の候補地を決めることになるのか。

【説明者】 今回の未来会議では一度持ち帰っていただき、次回の未来会議で皆さまから候補地のご提案をいただければありがたいです。提案いただいた候補地については、事務局で重点区域にふさわしいかどうか確認し、地元の同意を得たうえで決定することになります。

【委員】 今日はそれぞれの委員の意見を出し合う形にすればよいのか。

【説明者】 その通りです。

【委員】 重点区域になることのメリットは何か。施策が有利になるか。

【説明者】 メリットとしては、質の高い景観形成が可能になれば、城跡や街なみの整備ができる事で集客につながります。また、街なみ整備事業のように住宅の新築や改修を行う場合に国・県・市から補助を受けることができます。デメリットとしては、派手な色合いは控えないといけないことや、規定以上の高さがある建築は届け出が必要になることなどがあります。

【委員】 鹿野町内で街なみ整備区域以外を重点区域に指定する事も可能なのか。例えば鷲峰山景を重点区域に指定するなど。

【説明者】 全体的な山並みの保全ということであれば、この景観計画とは異なります。

【委員】景観計画にある4つの重点区域に鹿野城下町区域があるが、いつから位置づけられたのか。

【説明者】鹿野城下町区域は市町村合併時に追加されました。

【委員】ルールに違反した場合、罰則規定があるのか。強制なのか。

【委員】住宅等を改修する場合、城下町の集落ごとに瓦の色指定がある。強制ではないが極力協力するという形になっている。

【委員】補助制度を利用して自宅を改修したが、道路面に駐車場があったので基準に合うよう門を付けた。しかし、出入りが困難であったため住宅建て替え時に撤去したので、現在、門はなくなっている。街なみに合うよう和風であることは意識したが、強制ではないと感じた。

【委員】平成20年に計画が策定されてから15年の間、改定がなかったのか。今回新たな区域が提案された場合には、7年度中に追加しないとダメなのか。

【説明者】抜本的な改定は今回初めてです。質の高い景観をつくるために重点区域を追加するものですが、7年度中に追加できなくても検討区域にしておく方法があります。

【委員】勝谷街道や瑞穂線にはコスモス、菜の花、ひまわりなどが植えられ美しい景観がある。

【説明者】景色や眺望だけでなく、花と建築物との調和というような視点が必要になります。

【委員】この場ですぐ意見が出ないので、次回の未来会議で議論を深めるということにしよう。

### 3 議題（4）7年度総合支所重点・強化施策及び懸案事項及び関係予算について

#### 事務局より資料3に基づき説明

|                          |
|--------------------------|
| ・7年度の主な事業および関係予算の資料を基に説明 |
|--------------------------|

【委員】小鷲河地区で開催された生活交通会議はどうだったのか。

【事務局】会議で出た意見としては、循環バスについては「時間が合わない」「目的地までに乗り換えが必要となり使いづらい」「頼んだら来てくれるドアツードアのオンデマンドなら乗る」などの声がありました。また、今後も先進地を視察するなど、小鷲河地区に合う形態を考えていくことになりました。

【委員】これからは町全体で高齢化が進んでいく。他の地区でも情報を共有し、こういう風になったらいいという願望が出てきてほしい。

【委員】私は30代で子育て中なので、どうしても地域課題よりも家庭が優先になる。町内にも魅力ある若者はいるが、どうやってコミュニケーションを取ればいいのか分からない。こういった会議に参加しやすくなる仕組みが必要。また、子どもたちは学校で一方的に教えられるだけでなく、自ら学ぶ力を養ってほしい。子どもたちと一緒に地域のこと考えて当事者意識が生まれるような取り組みがあればいい。

【委員】大阪から移住して鹿野町に来たが、大阪では地域活動を全くしていなかった。鹿野町ではたくさん集まりがあるが、どう入っていけばよいか分からない。同年代の人達と気軽につながれる場があればいい。大学生などが地域に関われるきっかけがあればいいと思う。

【委員】私にとっては「ボランティア活動＝自治会」の認識がある。長年住んでいた神奈川県では仕事中心であったのでボランティアや地域活動はしてなかった。今は自治会活動に関わっている。最近、引っ越して来る人達の中には、ゴミステーションの掃除や役員をしたくないなど、自治会にネガティブなイメージを持っている人が多い。いい意見を持っている若い方もいるが、自治会加入は強制ではないので入らない人が増えている。また、加入者が少ない為に自治会の役が回ってることが多く、地域活動だけでなく公民館のお手伝いもある事が負担になっている。

【委員】人材育成などについて具体的な動きはあるのか。

【委員】鹿の助スポーツクラブでは、スポーツ施設の運営管理のみでなく、地域活動についても取り組んでいこうと考えておられる。今年すぐではないが、総合支所も先を見据えて一緒に将来の地域づくりについて検討していければと思う。

【委員】城山の天守閣の眺望が悪いので支障木を伐採できないか。見晴らしがよくなれば観光客の誘致ができる。

【事務局】保安林なので許可が必要ですが、検討してみます。

#### 4 報告事項（1）鹿野町地域未来プランについて

事務局より資料4および別冊に基づき説明。

特になし

#### 4 報告事項（2）行事経過報告及び今後の予定について

事務局より資料5に基づき説明。

【委員】第4回鷲峯山麓ハーフマラソンを11月9日に開催できるよう準備を進めている。今回はゲストランナーとして中国電力駅伝部の岡本直己選手に来ていただく予定。

【委員】ハスの植え替えは町外の人でも参加できるのか。

【事務局】どなたでも参加できるのでぜひご参加ください。

#### 5 その他（1）について

特になし